



2011年4月25日

AGC、新たな成長基盤の構築に向け、ブラジル市場への進出を決定 ～建築用ガラスおよび自動車用ガラス市場に同時参入～

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、高成長が見込まれるブラジルの建築用ガラスおよび自動車用ガラス市場に参入します。サンパウロ州に新社を設立し、約400億円を投じて、建築用ガラス及び自動車用ガラス素板を生産するフロート窯、建築用高付加価値品生産設備であるミラー及びコーティング設備、自動車用の合わせガラス及び強化ガラス生産設備を建設、2013年以降順次稼働を開始する予定です。

世界経済の成長を牽引する新興国を代表する国の一つとして、ブラジルは2010年には年率7.5%の高い成長を遂げており、今後も安定的な成長が見込まれます。さらに、これから数年の間に相次いで計画されている世界的なスポーツイベントの開催による経済効果もあり、建築市場の拡大が期待されています。また、自動車市場においても、2010年の新車販売台数が世界第四位となり、自動車メーカー各社の増産計画が相次いで発表されています。

AGCは、経営方針 *Grow Beyond* の下、新興市場での事業拡大を「第2のグローバルゼーション」として成長戦略の柱の一つに掲げており、既に進出済みのインド・中国・ロシアに続く新たな進出先として、上記の通り需要が今後益々高まるブラジルへの進出を決定しました。

新会社の運営にあたっては、最新鋭の技術とグローバルでの豊富な経験に基づくマネジメント力をAGCの総力として投入し、効率性の高い生産や高付加価値商品の拡販を通じて、成長を続ける市場での旺盛な需要に応じていきます。

<新会社の概要>

- | | |
|----------|---|
| 1. 社名 | AGCガラス・ブラジル（AGC Vidros do Brasil Ltda.） |
| 2. 所在地 | ブラジル サンパウロ州 |
| 3. 出資比率 | AGCグループ100% |
| 4. 事業内容 | 建築用ガラス、自動車用ガラスの製造・販売 |
| 5. 生産能力* | フロートガラス（22万トン/年）、自動車用ガラス（50万台分/年） |
| 6. 従業員数* | 約500名 |

* 2016年時点

AGCは、2020年に売上高を2兆円以上へ拡大することを目指しており、その30%を新興市場が担うべく事業展開を一層加速するとともに、高付加価値商品の提供を通じて新興地域の発展にも貢献していきます。

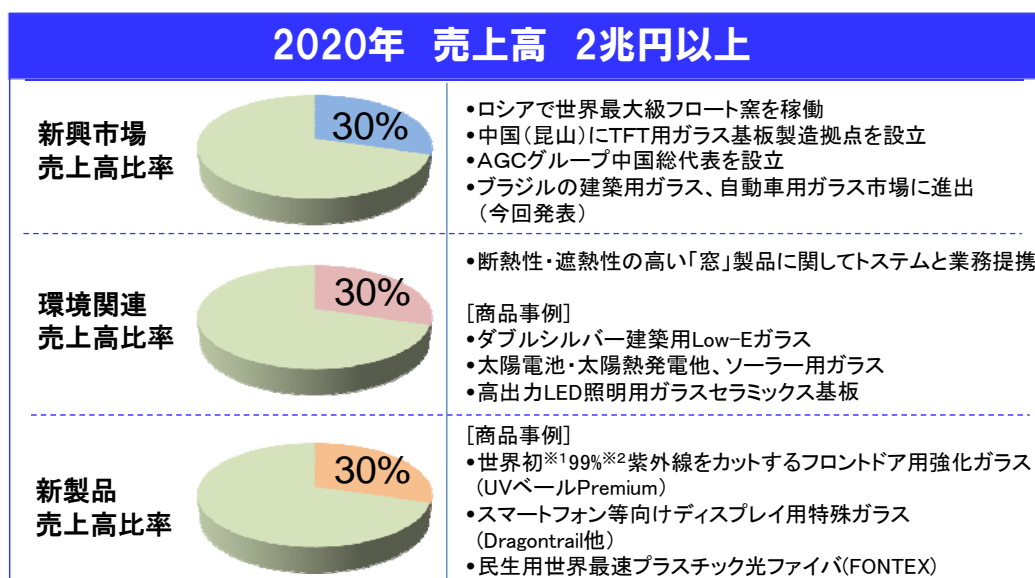
◎本件に関するお問い合わせ先：**AGC**旭硝子(株)広報・IR 室長 上田 敏裕
(担当：戸張 TEL：03-3218-5509、E-mail：info-pr@agc.com)

<参考資料>

1. BRICsにおける主なグループ会社

国名	会社名	事業内容
ブラジル	AGCガラス・ブラジル(今回発表)	建築用ガラス、自動車用ガラスの製造・販売
ロシア	AGCフラットガラス・クリン	建築用ガラスの製造・販売
	AGCポーラスワークス	建築用ガラス、自動車用ガラスの製造・販売
インド	旭硝子インド硝子	自動車用ガラスの製造・販売
中国	旭硝子特種玻璃(大連)有限公司	建築用・自動車用各種フロートガラス等の製造・販売
	旭硝子特種玻璃(蘇州)有限公司	自動車用各種フロートガラス等の製造・販売
	旭硝子汽車玻璃(中国)有限公司	自動車用ガラスの製造・販売
	旭硝子汽車玻璃(佛山)有限公司	自動車用ガラスの製造・販売
	旭硝子顯示玻璃(昆山)有限公司	TFT用ガラス基板の製造・販売
	旭硝子化工貿易(上海)有限公司	フッ素化学品の輸入販売
	ツー博旭硝子剛玉材料有限公司	電鍍レンガの製造・販売
	旭硝子(中国)投資有限公司	中国における産業政策・市場情報等収集、事業開発の推進、中国における投資活動、M&Aの展開等

2. 2020年の事業イメージと投資・商品事例



※1 2010年12月現在、弊社調べ。

※2 弊社測定値。ISO9050基準。